

長野県医労連情報

長野県医療労働組合連合会 No 19 2014年 8月26日
TEL 026-228-9376 FAX 026-224-5745 E-mail: irouren-nagano@nifty.com
----- 医療労働者の生活と権利 県民のいのちと健康を守ろう -----

はじける笑顔(^o^) 第20回院内保育所交流集會に58名が参加!

8月24日に厚生連佐久病院・佐久医療センターで、「長野県医労連・院内保育所第20回交流集會」を開き講師の先生含めて大人35名、子ども23名が参加しました。今年の集會は昨年・一昨年と大変好評だった子どもとのふれ合い遊びと、来年度から保育制度が変わる「子ども・子育て支援新制度」の学習の2段構成で行いました。



講師は長野市の社会福祉法人稲田会の理事長でかざぐるま保育園元園長の五十嵐文子先生で、遊びも学習も楽しくわかりやすく教えていただきました。遊びは皆さんお馴染みの「いっぽんばしこちょこちょ」の手遊びから始まり、「やおやのつねこさん」「ゆびきつね」など、そして新聞

紙やビニールテープ、ガムテープ、牛乳パックなど、どこの家庭にもある身近な材料で作るおもちゃを教えていただきました。どの親子からも楽しい笑い声が聞こえ会場は笑顔にあふれました。

休憩時間は院内保育所「ココの家」の見学と、保育所の先生手作りのおやつとスイカも用意していただきました。続く学習では、子どもたちが保育所で保育してもらってる間、時間がおす中でしたが制度について駆け足でお話いただきました。保育所に関してはほぼ現行通り、改正児童福祉法第24条でも市町村に保育実施義務があり、申し込みや契約、保育料の徴収を行うとのことで、私たちの運動の成果だと話されました。ただ、これまで保育所に子どもを預ける要件が「保育に欠ける」であったものが「保育を必要とする」に変わったことで、市町村が一人一人の保育の必要性の認定をすることになります。また、この制度の問題となる点は幼保連携型認定こども園だということでした。



時間が足りない中でしたがわかりやすい資料を用意していただき、アンケートからは「帰ってからよく読み返したい」「保育の充実のためにもこうした学習会は必要」などの感想をいただきました。また、「父母の座談会のような気軽に語り合える場がほしい」との要望もあり、今後単組でもそうした場を設けられるよう院内保育所連絡会として支援していく必要性も感じました。